

医療ミスを防ぐ為の20か条

2000年に米国厚生省は、患者向けの「医療ミスを防ぐための20か条」を公表しました。医療ミスを防ぐために患者の立場から出来ることを、研究結果を元に具体的に示しています。

ヘルスケア（健康管理）に積極的にかかわること

- ①「自分自身もヘルスケアチームの一員である。という自覚を持ち、常に判断にかかわること。

薬物について

- ②自分が使用しているすべての薬（処方薬をはじめ、市販薬、栄養補助食品も含む）について医師が把握しているのかを確認すること。
- ③今までにおきたアレルギー反応や、薬の副作用について医師が把握しているのかを確認すること。
- ④医師の書いた処方箋が正しく読むことが出来るかを確認すること。
- ⑤処方時と処方薬を受け取る時の両方で、処方薬について自分が分かるように説明を求めること。
- ⑥薬局で薬を受け取る時、自分の医師からの処方どおりなのかを確かめること。
- ⑦薬の記載ラベルに分かりにくいところがあれば、聞いてみる。
- ⑧薬剤師に水薬（液状薬剤）をはかる工夫を聞くこと。目盛り付きのシリンジなど専用器具を使うことが好ましい。
- ⑨自分の薬がおこしうる副作用の説明を書面にしてもらおうこと。

病院では

- ⑩自分に必要な治療について、多くの症例を持つ病院を選択すること。
- ⑪病院では、直接接する医療従事者に手洗いをしたかどうかを聞くこと。
- ⑫退院時には、在宅での治療計画の説明（薬について、いつから通常の生活に戻ってよいのかなども含めて）を聞くこと。

外科手術

- ⑬外科手術の際には、自分、主治医、外科医のすべてが承認していること。そして正確に何が行なわれるかがはっきりしているかどうかを確認すること。

その他

- ⑭分からないことや気になることは、きちんと話し合うこと。
- ⑮自分のケアに対して責任をもってくれる（かかりつけ医など）を確保しておくこと。
- ⑯ケアにあたる医療従事者は、それぞれが（専門性に基づく）それぞれの視点から自分をみているということを認識すること。
- ⑰家族もしくは友人に代弁者になってもらうこと。
- ⑱それぞれの治療や検査がなぜ必要なのかを確認すること。
- ⑲検査の結果は、自分からきちんと聞くこと。
- ⑳医師や看護師やその他の信頼できる情報源から、状態や治療について聞き、学ぶこと。

看護師 杉村 真美

おすすめレシピ～和風パスタ～

材料1人分

スパゲッティ	80g	キャベツ	50g
ツナ缶	30g	青葱	3g
赤唐辛子	少量	ごま油	10g
きざみのり	適量	濃口醤油	8g
ニンニクスライス	少量		



作り方

- ①キャベツは一口大に切り、水にさらしておく。
- ②鍋に多めの湯を沸かす。
- ③スパゲッティを②の湯で茹でる。
- ④フライパンにごま油を熱し弱火で赤唐辛子とんにくスライスを入れ焦げないように炒める。
- ⑤スパゲッティの規定茹で時間の1分前に、同じ鍋に①のキャベツを入れ、一緒に茹でる。
- ⑥⑤が茹でられたら、ザルなどで水気を切る。
- ⑦⑥を④のフライパンに入れ、油を絡めながら軽く炒める。
- ⑧醤油で味をつける。
- ⑨皿に盛り、ツナ缶・青葱・きざみのりをのせる。

コメント

パスタには色々な種類がありますが、例えばクリームベースのパスタならリンが多くなりやすく、トマトベースパスタならカリウムが多くなりやすいです。また、スープパスタは水分が多いです。今回はオイルベースのパスタをご紹介します。ごま油を使用することで風味が上がり、塩分制限による味の薄さを軽減してくれることが期待できます。また、スパゲッティ自体にもリンが含まれるので、麺を茹でるお湯の量は多めにし、リンが流れ出るようにすることもポイントです。同じ鍋でキャベツも軽く茹で、カリウムも少なくなしましょう。

病態栄養科

透析用留置針について

透析用留置針とは

血液透析治療に用いられる金属製の内針とプラスチック製の外針を有する針です。穿刺時には金属針の特性である鋭い切れ味が速やかに血管を確保し、留置中は血管内の損傷を抑えるためにプラスチック製外針のみが留置されます。

京都武田病院透析センターにおいて主に使用している留置針はハッピーキャスクランプキャス（製造販売：東郷メディキット株式会社）です。患者さんによって針の大きさを15・16・17ゲージの三種類で使い分けています。

特徴

スムーズに挿入できるので患者さんに与える苦痛を軽減します。内針の金属を厚くした肉厚針により、皮膚組織の引っ掛かりを軽減しスムーズな穿刺が行えます。クランプ部には生体適合性に優れたシリコン素材を使用しており、皮膚への圧迫も和らげます。

臨床工学技士 藤井 甲子郎

新入職員さん

初めまして。4月1日に入職しました臨床工学技士の川田幸一と申します。社会人を経験してから臨床工学技士免許を取得し、大学院で修士課程（医療安全管理学）を2年間学び、先月に修了致しました。臨床業務は初めてですので、ご迷惑をお掛けすると思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願いいたします。

川田 幸一